

農業コース学習

コンニャク栽培学習

コンニャクは大子町の特産品の一つです。地域の農業を学ぶことも重要です。本来であれば、みんなで実際に体験しながら学習しますが、画像をもとに学習します。

【土壌消毒】

コンニャクを栽培するにあたり、最初に行わなければならないのが、土壌消毒です。コンニャクは病気に弱い植物です。栽培初期に土壌中の細菌に感染してしまうと、軟腐病などにかかりやすくなってしまい、場合によっては収穫が出来なくなってしまいます。

①圃場の計測

コンニャク栽培を行う圃場を計測し、栽培床・通路を決めます。今回利用する土壌消毒用被覆ポリは、幅6mです。そこで、両サイド固定するため埋設する部分を考え、栽培床5.5m（固定のため土壌に片側2.5cm）、通路1mで線を引きます。



②土壌消毒剤散布

今回利用する土壌消毒剤は、バスアミドを利用します。



③耕耘

撒いたバスアミドが土壌全体を殺菌するようにトラクタで耕耘します。



④土壌被覆

バスアミドは、ガスを発生させ土壌消毒・殺菌をします。ガスが逃げないように土壌表面を被覆します。



被覆ポリを固定するための溝を鋤で掘ります。



被覆ポリを広げて地面を覆います。



被覆ポリが地面に密接するようにも片側を張りながら固定します。



場所を決め、片側から地面に固定していきます。



被覆完成。このまま数日ガスを閉じ込め殺菌・消毒をします。
植え付けの際は、もう一度トラクタで耕耘して、ガス抜きをします。

※ 作業のワンポイント

鍬の使いい方

鍬は畝を作るのに便利な道具ですが、使い方にはコツがあります。



鍬は、地面に対し刃の底面を斜め
45度の角度で、進入させる。
刃の全体に土が乗ったら、
鍬を自分の方に引き土を
落とします。
土をズラス感じです